OSPF、MPLS VPN およびスーパバイザ 32、スーパバイザ 720、または Route Switch Processor 720 の Cisco IOS の脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-20080326-queue

初公開日 : 2008-03-26 16:00

バージョン 1.3 : Final

CVSSスコア : 7.8

回避策 : Yes

Cisco バグ ID : CSCsf12082

CVE-2008-0537

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

12.2 に基づいて Cisco IOS のブランチを実行するある特定の Cisco Catalyst 6500 シリーズおよび Cisco 7600 ルータ デバイスはどのトラフィックでも影響を受けたインターフェイスに入ることを防ぐことができるサービス拒否の脆弱性に脆弱である場合もあります。 脆弱であるデバイスに関しては Open Shortest Path First（OSPF） 模造リンクおよび Multi Protocol Label Switching（MPLS）Virtual Private Networking（VPN）のために設定する必要があります。 この脆弱性は Supervisor Engine 32（Sup32）、Supervisor Engine 720（Sup720）または Route Switch Processor の Cisco Catalyst 6500 シリーズまたは Catalyst 7600 シリーズ デバイスだけに 720 の（RSP720）モジュール影響を与えます。 スーパバイザ 32、スーパバイザ 720、スーパバイザ 720-3B、スーパバイザ 720-3BXL、Route Switch Processor 720、Route Switch Processor 720-3C、および Route Switch Processor 720-3CXL は脆弱 なすべて可能性としてはです。

OSPF および MPLS VPNs はデフォルトで有効に なりません。

このアドバイザリは http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080326-queue で掲示されます。

注: 2008 年 3月 26 日パブリケーションは 5 つのセキュリティ アドバイザリが含まれています。 アドバイザリはすべて Cisco IOS に影響を与えます。 各アドバイザリはリリースをリストしアドバイザリに説明がある脆弱性を解決するアドバイザリはまたリリースをその正しいすべての 5 つのアドバイザリの脆弱性詳述します。

各ドキュメントへのリンクは次のとおりです。

- Cisco IOS バーチャル プライベート ダイヤルアップ ネットワーク（VPDN）サービス拒否の脆弱性
  326-pptp

- Cisco IOS の多重 DLSw サービス拒否の脆弱性
  326-dlsw

- IPv4/IPv6 Dual-stack ルータのための Cisco IOS User Datagram Protocol（UDP）配信問題
  http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080326-IPv4IPv6

- OSPF、MPLS VPN およびスーパバイザ 32、スーパバイザ 720、または Route Switch Processor 720 の Cisco IOS の脆弱性
  http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080326-queue

- Cisco IOS Multicast 仮想 な プライベート ネットワーク（MVPN）データ漏洩
  326-mvpn

該当製品

修正済みソフトウェア

Supervisor Engine 32（Sup32）、Supervisor Engine 720（Sup720）、または Route Switch Processor 720（RSP720）に基づくすべてのシスコ製品は可能性としては脆弱です。 Cisco Sup720 および RSP720 製品に機能を高めるドータ カードのためのサポートがあります。 これらのドータ カードは Sup720 か RSP720 に直接接続し、PFC-3B、PFC-3BXL、PFC-3C および PFC-3CXL のような名前があります。 Sup720 または RSP720 の製品番号はインストールされている RSP720-3CXL のようなドータ カードを反映するために変更されることができます。

脆弱性が Sup720 および RSP720 に影響を与えるので、Sup720 のすべてのバージョンか RSP720 はインストールされているドータ カードに関係なく脆弱、です。

- Sup32、Sup720、Sup720-3B、または Sup720-3BXL の Cisco Catalyst 6500 シリーズ デバイス
- Sup32、Sup720、Sup720-3B、または Sup720-3BXL の Cisco 7600 シリーズ デバイス
- RSP720、RSP720-3C、または RSP720-3CXL の Cisco 7600 シリーズ デバイス
- Cisco ME 6524 イーサネット スイッチ

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

Cisco バグ ID CSCsf12082 （登録ユーザのみ）は脆弱 な ハードウェアで動作しない追加 IOS リリース、上でセクションがこの脆弱性から影響を受ける脆弱性が存在する製品で述べられたプラットフォームだけに統合されていましたが。

改訂履歴

リビジョン 1.3	2008-June-27	リンクおよび冗漫を取除く更新済要約。
リビジョン 1.2	2008-April-25	CSCsf12082 への更新済 CVSS リンク。
リビジョン 1.1	2008-March-26	要約するとセクションは IPv4/IPv6 Dual-stack ルータのための Cisco IOS 配信問題に、テキスト User Datagram Protocol (UDP) 変更し、詳細 セクションで、テキストは CVE-2008-0537 に変更しました。
リビジョン 1.0	2008-March-26	初回公開リリース

利用規約